

民間企業も要請に応じてさまざまな支援を行った。乙河内浄水場では、災害用ユニット（アクアレスキュー）2基、除マンガン装置2基をリースにより設置。仮設タンクもステンレスタンクメーカーが設置した。仮設タンクは高台に設置し、そこから仮設配管を伸ばして消火栓に接続する形で、自然圧による応急給水を実現した。仮設タンクには、給水車が定期的に給水した。

全国的にも小規模水道の維持が課題となっている中、今後、平常時でもこうした給水方法を活用できる箇所はあるのではないだろうか。

日本水道新聞 第5371号（2018.2.26）より抜粋

乙河内浄水場で活躍したアクアレスキュー

